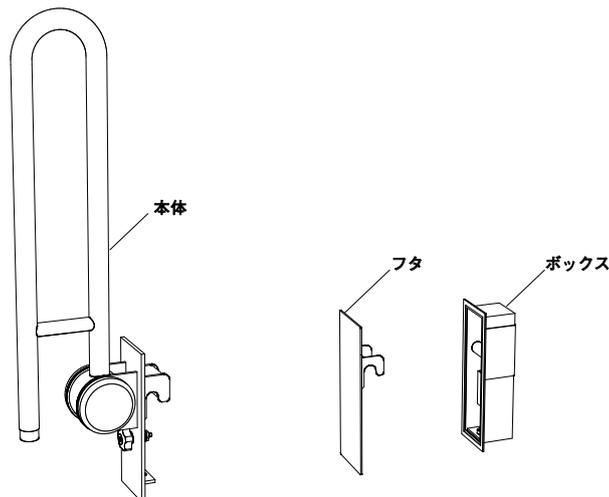


製品名 ハンドバー本体 OAS-HB-3000
ボックス BRN-HB001



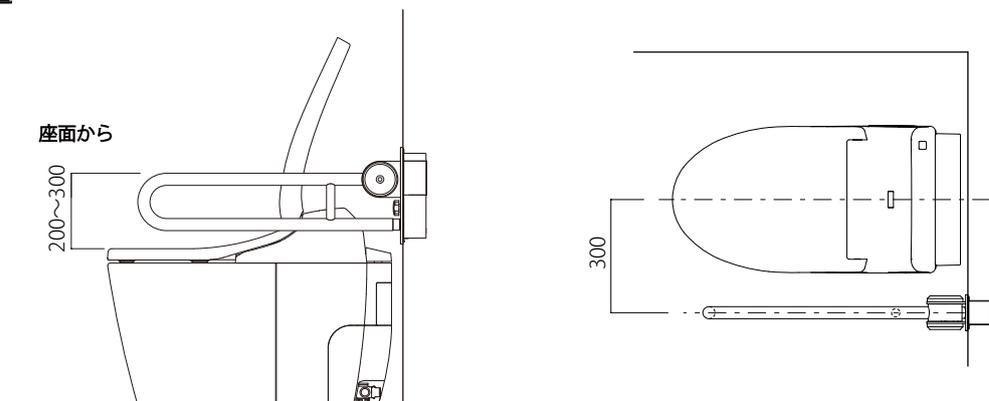
⚠ 警告

・取付に関する箇所の図面は参考となります。本品には体重が大きくかかる為、強度のある剛体への取付をお願い致します。

⚠ 注意

- ・取付適性位置には個人差がありますので、お客様とご相談の上、微調整して位置決めをしてください。
- ・開き戸や折戸などドアの開放時に干渉する可能性のある部分は避けてください。
- ・タオル掛け、棚、ペーパーホルダー他の干渉に注意してください。
- ・本製品は本体とフタが取り外せません。必ず全製品をご使用者にお渡しください。

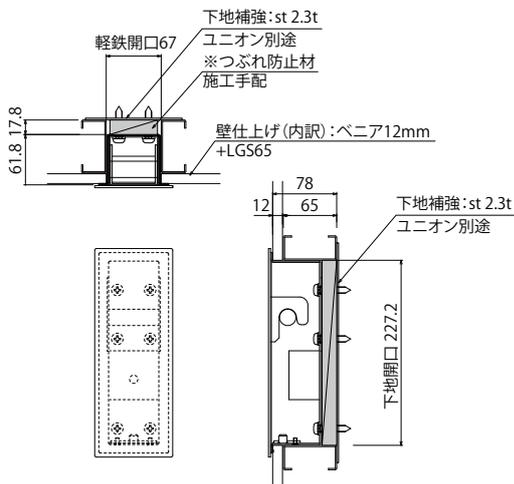
取付推奨位置



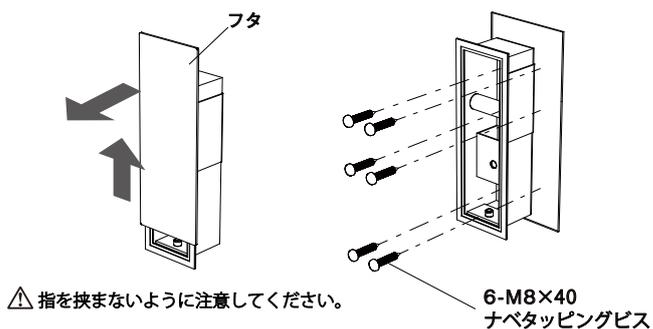
※数値は一般的な寸法であり、特定の使用者がいる場合はご利用時の使いやすさに合わせた取付位置にすることを推奨します。

取付について

① 取付下地について

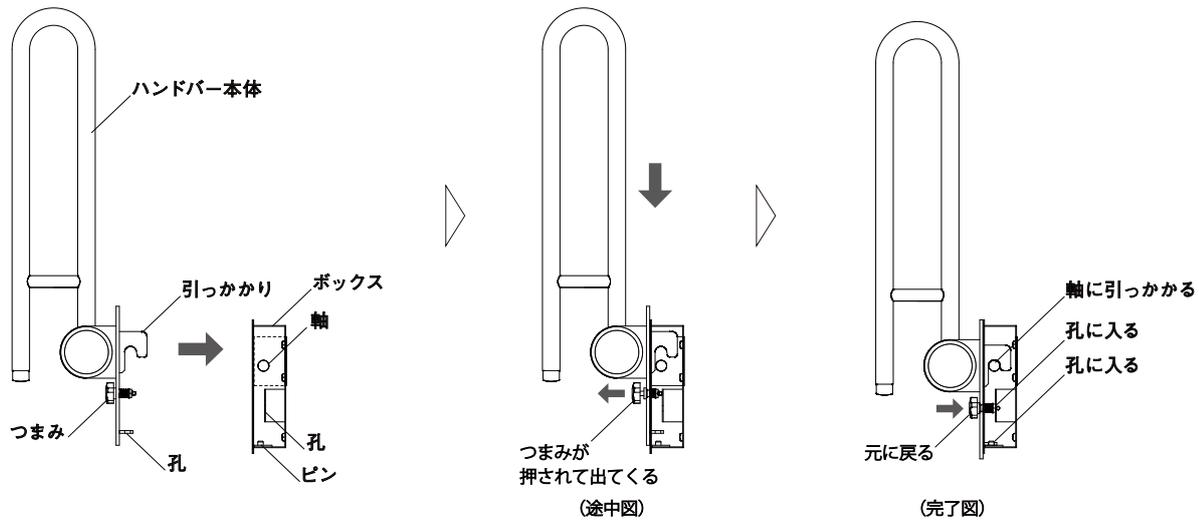


② ボックスよりフタを上へずらし手前に引っぱりフタをボックスから取り外します。ボックスを正面から下地に向かってビス止めしてください。

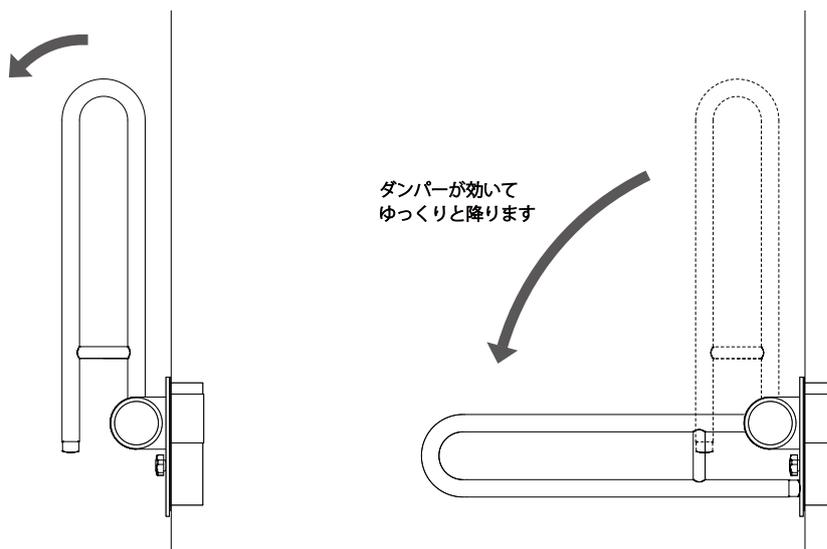


※この取付は参考となります。強度のある剛体に取付をお願い致します。

- ③ ボックスが確実に固定されている事を確認してください。ハンドバー本体をボックスの上側に差し込んで下に下げてください。この時ボックス内部では軸と本体の引っかかりが、かみ合っています。固定位置まで達するとつまみの先端がボックス内部の孔にはまります。(つまみはバネで自動的に戻ります。) このつまみが確実に最後まで元に戻っているか確認してください。下部にはピンが孔に入ります。

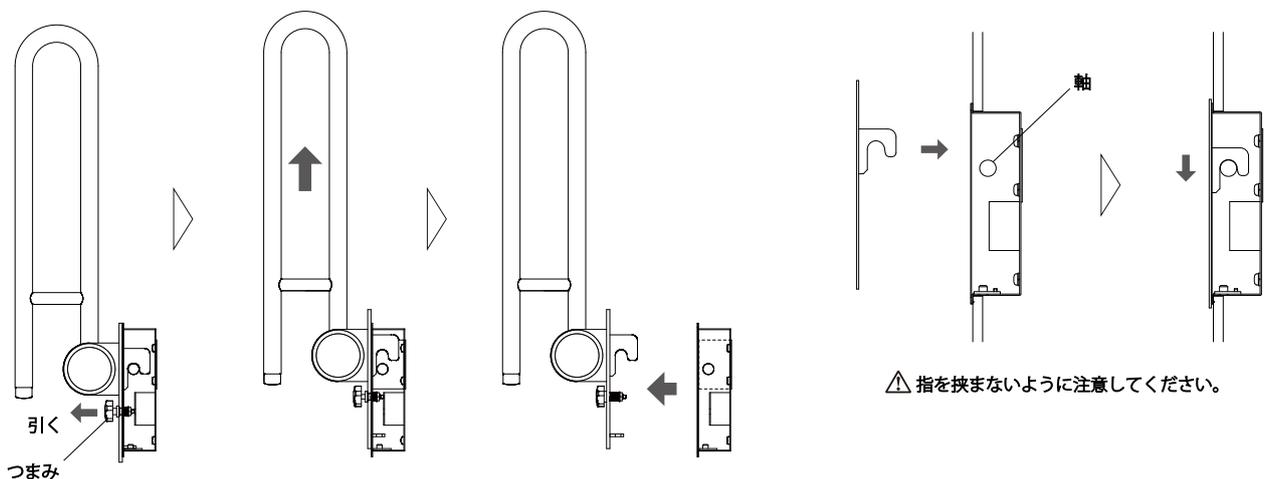


- ⑤ 作動の確認をしてください。ハンドバー本体を下げてゆっくり降りてくるかを確認してください。ここでもガタ付きなどがないか、必ず確認してください。

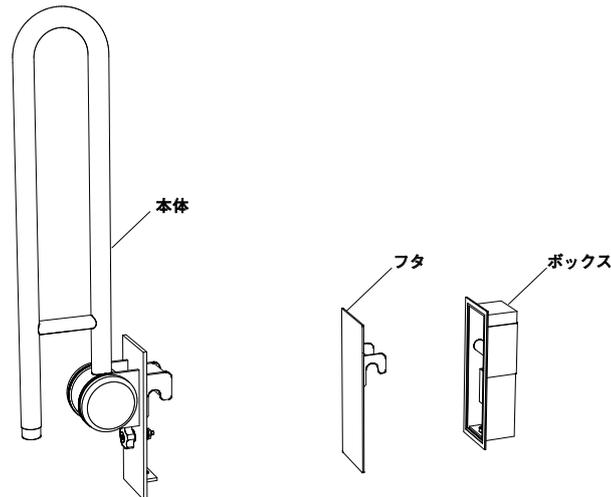


- ⑥ 次に取外しを確認します。ハンドバーをはね上げてください。つまみを引っ張りハンドバー本体を上へ持ち上げてください。軸からひっかり部分が外れるので、本体を手前に引っばってボックスから取外してください。

- ⑦ フタをボックスに差し込み下に下げてください。この時フタはボックスの軸に引っかかり固定されています。



製品名 ハンドバー本体 OAS-HB-3000
ボックス BRN-HB001



⚠ 警告

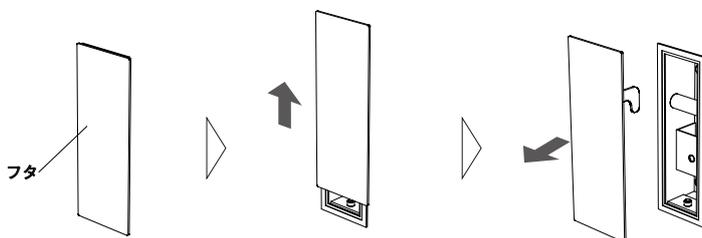
- ・各部の取外し取付は確実に行ってください。きちんとした状態にないと思わぬ怪我などの原因になります。
- ・本取扱い以外の用途に使用しないでください。

⚠ 注意

- ・本品は一部いたずら防止の為、作動しにくくしている箇所があります。
- ・本体及びフタは取外し後、汚れや水分などがかからない安全な場所に保管してください。
- ・ご使用後は汚れを取り除き、乾いた布で拭き取ってから保管してください。

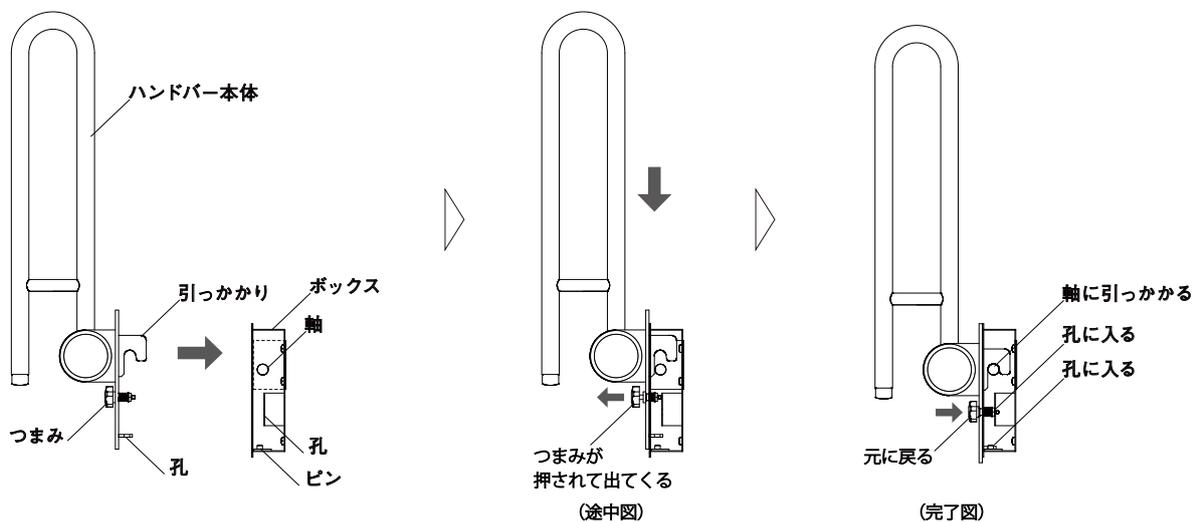
本体の取付

① 壁につけられたボックスのフタをずらし、手前に引っぱってフタをボックスから取り外します。



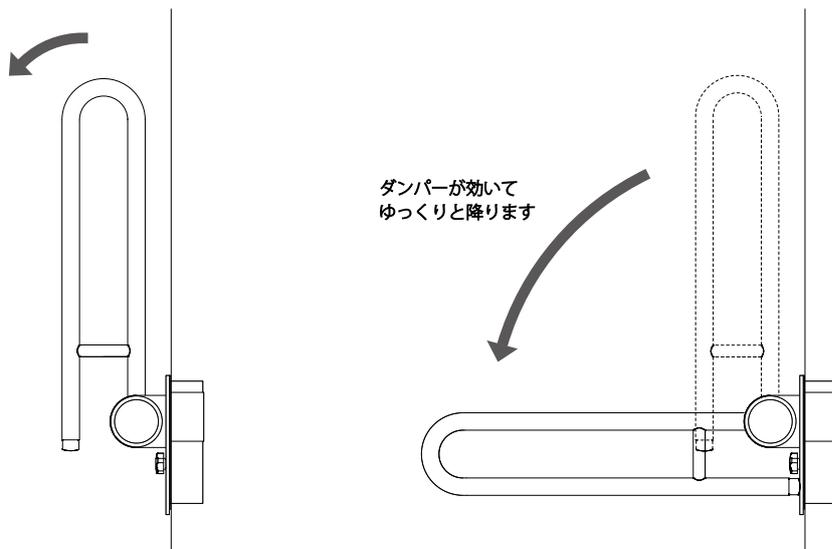
⚠ フタは意匠並びにいたずら防止の為、取外しにくくしております。指などを挟まないよう注意しながら取外してください。

② ハンドバー本体をボックス上側に差しこんで、下に下げてください。この時、ボックス内部では軸と本体引っかけりが噛み合います。固定位置まで下げるとつまみの先端が孔にはまります。つまみはバネで自動的に戻るため、このつまみが確実に元に戻っているか確認してください。ボックス下部のピンが本体の孔に入り、ガタツキを軽減させています。



③ 本体が取りついたらガタツキなどがないか必ず確認してください。⚠ きちんと取付いてないと思わぬ怪我の原因となります。

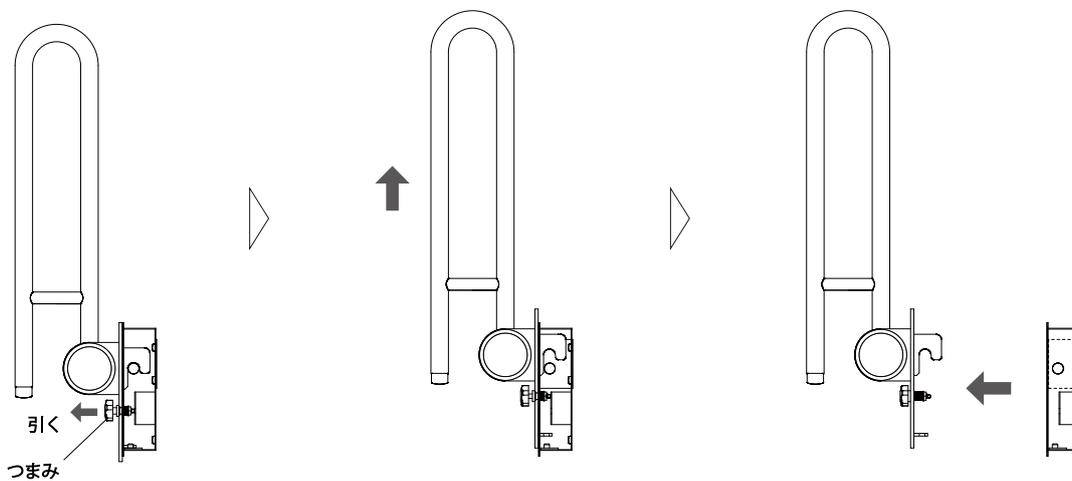
④ ハンドバー本体を下げて、ゆっくりと降りてくるかを確認してください。⚠ ここでもガタ付きなどがないか、必ず確認してください。



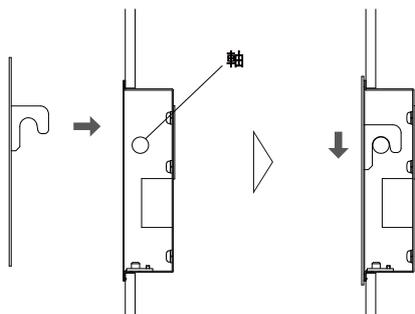
⑤ 確認の後、ハンドバーとしてご使用ください。

本体の取外し

⑥ 次に取外しを確認します。ハンドバーをはね上げてください。
つまみを引っぱりハンドバー本体を上へ持ち上げてください。
軸からひっかり部分を外れるので、本体を手前に引っぱってボックスから取外してください。



⑦ フタをボックスに差し込み下に下げてください。この時フタはボックスの軸に引っかかり固定されています。



⚠ 指を挟まないように注意してください。